

事業実績書

事業名	高齢者の居場所づくり事業	
場所	沼津市東間門 1-3-3 (株)コスモスケアサービス沼津営業所内	
期間	平成 28 年 7 月 14 日 ~ 平成 29 年 3 月 30 日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容		<p>コスモスケアサービス沼津営業所職員有志により、「西間門座」を構成し、毎月の企画と地域住民のニーズを検討し開催。</p> <p>日常業務の合間に打合せを社内の4名検討を重ね、チラシを作成配布し、9月から自治会の協力のもと回覧板や当日の町内放送の活用や、地域の店舗等でポスターを貼らせていただく等の広報活動をしてきました。10月からは人数増に伴い自治会より公会堂を利用させていただくようになりました。また、自治会主催の新年会や防災訓練等に参加させていただき、協力者及び参加者を募り、徐々に人数が増えていきました。地元新聞の取材掲載にもご協力いただきました。</p> <p>平成 28 年</p> <p>7月18日(月)~27日(水) 打合せ・チラシ作成配布・参加者募集 7月28日(木)「夏の遠足」港灣びゅうおの遠足開催 8月15日(月)~24日(水) 打合せ・チラシ作成配布・参加者募集 8月25日(木)「秋冬野菜づくりの会」開催 9月12日(月)~21日(水) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 9月22日(木)「さんま祭」開催 10月12日(水)~26日(水) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 10月27日(木)「秋のスモーク教室」開催 11月11日(金)~29日(火) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 11月30日(水)「防災食の試食会」開催、チラシ作成・検討会 12月1日(木) 参加者募集 12月12日(月)~21日(水) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 12月22日(木)「おもちつき大会」開催、検討会</p> <p>平成 29 年</p> <p>1月7日(土) 西間門自治会新年賀詞交歓会参加 1月12日(木)~25日(水) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 1月26日(木)「お汁粉座談会・介護保険かんたんヒント講座」 2月11日(土)~22日(水) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集・準備 2月23日(木)「宅配弁当の試食会・やさしい認知症予防教室」開催 2月25日(土)~3月4日(土) 打合せ検討会・チラシ作成配布・参加者募集 3月30日(木)「みんなで桜もちをつくる会」開催</p>
		 

<p>事業効果</p>	<p>当初の最終目的であった、地域住民主体の居場所づくりを実現することはできなかった。人数が増えることによって、当初の居場所であった事務所を気軽に立ち寄れることができる場所にはできなかったが、自治会や民生委員と連携し地域住民の方々が顔を合わせ協同しながら参加型の集いを継続して開催することができました。またワークショップを通して住民同士で議論していただいた結果、子供とのつながりを高齢者の男女共に求めており、最後の3月に子供と高齢者の集いを実現することができました。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>参加して下さった地域住民の方々からは、「不定期でも構わないので継続して欲しい」との声をいただくことができました。また、最後の子供と高齢者とのつながりを実現できる集いは、子供からも、高齢者の方々からも「楽しかった」「昔の話をもっと聞きたい」などの声も出ており、当初の予定とは思わぬ方向で地域包括ケアシステムの可能性を感じることができました。今後は、子供と高齢者が集える夏冬春休みのタイミングに人気のあった「さんま祭」「餅つき大会」などの自主開催や、地域のイベントに参加して介護保険相談窓口を設けたり、地域包括ケアステーションを目指していきたいと思います。また、住民主体型を先導していただける人材として65歳前後の方が集まりやすい活動も続けていきたいと思います。</p>
<p>自己評価</p>	<p>仕事の合間に時間を見つけて継続していくこと、それぞれの仕事に支障をきたさぬよう構成員を集め打合せを重ね、毎月の開催につなげていくことに苦労しました。まず、周知していただくために、目を引く企画内容とチラシをつくり、民生委員や店舗への広報活動など手分けして配布、声掛けに時間と労力を費やし、正直手上げたことを後悔したこともありました。</p> <p>しかしながら周知されるにつれ、人も集まり、ワークショップやアンケートなど参加者の声をできるだけ集めることによって、子供と高齢者の交流に地域包括ケアシステムの手掛かりを感じるようになりました。</p> <p>地域住民の方々も話ができる場所を欲しています。できることなら、65歳位の方が交代で空き家を居場所として活動が続いていけるように導いければと思っておりますが、ターゲットに合わせた開催内容と時間をかけて継続をしていくことが重要であると最後に気づきました。</p>

